

提出済み要望書(声明)2015年度②7北朝鮮の核実験に抗議(平和委員会提案)2016年2月3日

内閣総理大臣  
外務大臣 関係閣僚 各党党首  
マスコミ関係 (大手一般新聞社、ほかメディア関連)  
韓国大使館 中国大使館  
(各国大使館?)

国際婦人年連絡会  
世話人 山口みつ子  
實生 律子  
紙谷 雅子

## 北朝鮮の核実験に抗議し、「核なき社会」の実現に取り組むこと

国際婦人年連絡会は、1975年に国連が提唱した国際婦人年の目標「平等・開発・平和」実現のために結成され、現在、全国の女性団体36団体が結集して活動しているNGO団体です。

2015年秋の国連総会において「核兵器のない世界」に関する多くの決議が採択され、国際世論は「核廃絶」へと高まっています。こうした中で、報道によれば、「本年1月6日、核実験を行なったとする」北朝鮮の姿勢は、国連決議を否定し、世界の潮流に逆行する行動であり、決して許すことはできません。

核を保有することは抑止力にはなり得ません。核による支配ではなく、対話を通し、平和と友好の立場から、諸外国との連携に努めること、特にすべての核保有国も力を合わせ、世界の安全保障と平和に向けて、「核なき世界」実現のためにあらゆる努力を続けることが必要です。

広島・長崎、さらに第5福竜丸と3度の被曝を体験している私ども日本は、これまでも「核廃絶」を訴え、行動し続けてきました。

よって、国際婦人年連絡会は、今後、北朝鮮に限らず、あらゆる国、地域で「核兵器」の開発・実験を行なわないこと、核保有国は自ら率先して「核兵器廃絶」に向けて努力すること、被爆国である日本政府は核兵器廃絶へ積極的な役割をはたすことを求めます。